秋田県フリースタイルスキー(モーグル)ジュニア育成事業

「モーグル・ジュニアキャンプ」

- (1)趣 旨 秋田県のフリースタイルスキー(モーグル)に係るジュニアの育成を推進しつつ、普及活動による交流人口の増加とスキーを通じた健康増進に 努めることを目的とする。
- (2) 主 催 秋田県・仙北市
- (3)主 管 秋田県スキー連盟(フリースタ イル部会 ジュニア育成強化推 進プロジェクトチーム)



- (4)協 賛 たざわ湖スキー場
- (5)会場たざわ湖スキー場(ジュニアキャンプ用特設コース)
- (6) 開催日程 令和7年2月15日(土) 1日目: 開講式および講習会 令和7年2月16日(日) 2日目: 講習会および閉講式
- (7)参加資格 下記項目の全てに該当する方 ①秋田県に在住または通学している小学生・中学生・高校生の方 ②整地においてターン等を他者の補助なく自由に行える方
- (8)募集人数 各日30名程度 ※定員になり次第、募集を終了します。
- (9) 参加申込 下記の専用申込フォームよりお申込下さい。 ★★モーグルジュニアキャンプ★

【 申込フォーム 】

https://forms.gle/yaVxFWc8L9Xnzttz7

※期日以降の申込や変更は行えません。

【参加申込期日】 令和7年1月26日(日) ※申込期日以降の受付はできません。



(10) 参加費用

コース	期間	参加料金	参加料金に含む事項	
	州川山	多为时生	リフト券	昼食
Α	両日	5,000 円		
В	15日(土)	2 000 [0	0
С	16日(日)	3,000 円		
宿泊施設を利用したAコース参加者への助成金				2,000 円

- ※宿泊する場合は、各自参加者側にてご対応下さい。
- ※参加費用の返金は、キャンセルした状況によって返金できません。
- ※最終日の受付にて、宿泊に係る領収書の確認をします。
- (11) 注意事項 ◇参加者の安全確保に努めた開催を行いますが、万が一に備え、傷害 保険等は各自で対応願います。
 - ◇講習日当日に悪天候となった場合等、随時日程を変更します。
 - ◇申込の際に同意事項および誓約事項を必ずお読み下さい。
- (12) 問合せ先 秋田県スキー連盟 フリースタイル部会 Jr.育成強化推進PJT事務局 メール : fssakita@yahoo.co.jp

「モーグル・ジュニアキャンプ」の詳細日程

令和 7 年 2 月 15 日(土) 】 1 日目

08: 30 - 受付開始 ◆田沢湖スキー場管理センター2階「プレスルーム」

※受付の際に参加費用の徴収を行います。 ※荷物は、無料休憩所に置いて下さい。

※当日やむを得ない場合を除き、受付時間に遅れそう

な場合は、事前にメール等で連絡願います。

09: 00 - 開講式 ※田沢湖スキー場管理センター2階「プレスルーム」

で行います。(状況により開催場所の変更有)

09 : 30 - 講習会① ◆グループ編成・ジャッジハウス見学(希望者のみ)

◆講師による基本指導 (ターン・エア)

【特別講師】

畑中 みゆき 氏(元オリンピック日本代表)

11:30 - 昼休憩 ※ロッジの混雑状況で時間を変更します。

13: 00 - 講習会② ◆講師による基本指導 (ターン・エア)

◆個別トレーニング

15:30 - 講習会終了 ※片付け後、現地解散となります。

【 令和 7 年 2 月 16 日(日) 】 2 日目

08:30 - 受付開始 ※受付後、管理センター前に集合して下さい。

※宿泊施設を利用されたAコース参加者は、受付の際 に領収書のご提示で2,000円を助成します。

09: 00 - 講習会③ ◆前日の講習内容を復習(ターン・エア)

◆個別トレーニング

11: 30 - 昼休憩 ※ロッジの混雑状況で時間を変更します。

13:00 - 講習会④ ◆参加者全員による模擬競技会(採点会)

※公認審判員が滑走を採点します。

※模擬競技会への参加は強制いたしませんので、個別 レッスンをご希望の際は、事前にお申し出下さい。

14: 40 - 全日程終了 ※各自片付け後、閉講式会場に集合して下さい。

15:00 - 閉講式 ※開講式と同じ場所で行います。

15:30 - 現地解散 ※事故等が無いよう、各自気を付けてご帰宅下さい。

≪ 感染症予防対策は、各自で適宜行って下さい ≫

≪ 両日共に講習中は、適度にロッジ等で休憩をします ≫

≪ 混雑等の状況等に応じて、随時講習時間等を変更する場合があります ≫

△△△ 随行者または保護者の方へのお願い △△△

キャンプ参加者の安全確保をするため、<u>以下の事項を必ず守って下さい。</u>

- ◆コース上に参加者がいる場合は、接触等による重大な事故を招かないよう、絶対に 滑走しないで下さい。
- ◆一般客がコースを滑走する可能性があるため、参加者がコース上からいなくなるまで待つように指導して下さい。(声がけの例:「今は参加者が講習中なので、全員コースからいなくなるまで滑らないで下さい。」等)
- ❖コース途中で観覧している際に、目の前で参加者が転倒してしまい、再滑走に時間がかかりそうな場合は、積極的な補助(コースアウトさせる、用具を拾う等)をお願いします。
- ◆コース外で撮影や観覧をする場合は、参加者との接触事故等を招かないよう、コースに近い場所、コース終点付近、または滑走ラインの延長上に絶対滞在しないで下さい。(参加者が突然コースアウト、ターン、停止のエッジングをする可能性があります。)
- ◆参加者が安全かつ安心して滑走できるよう、こまめなコース整備(デラパージュ等 にご協力願います。
- ❖参加者が滑走する際は、大きな声援をお願いします。